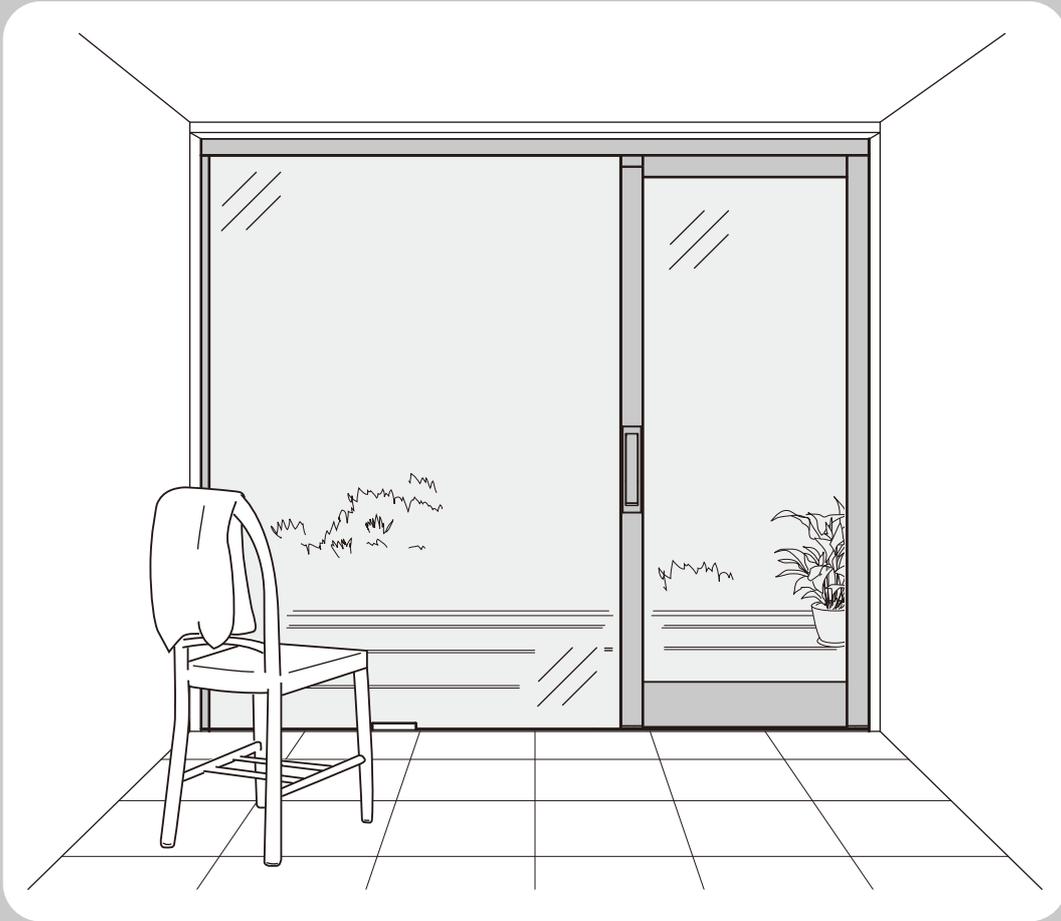


ワイドウイン

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための清掃方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ……………	1	■ 清掃方法……………	6～8
■ 警告用語の種類と意味……………	1	■ お手入れ方法……………	9
■ 特に注意していただきたいこと……………	2・3	■ アフターメンテナンスについて……………	10
■ 操作方法……………	4	■ 商品保証について……………	裏表紙
■ 調整方法……………	5		

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「ワイドウィン」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「ワイドウィン」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

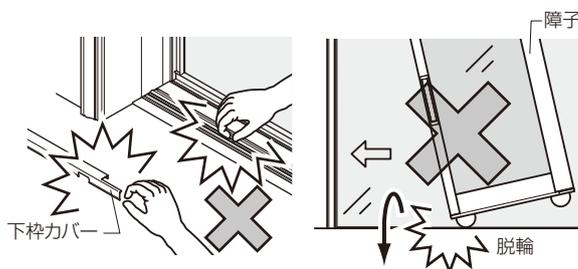
(安全のため、必ずお守りください)

▲ 注 意

- 窓・網戸の開閉は、周囲に人がいないことを確認し、引手やハンドルを持ちゆっくりと行ってください。指などの身体を挟まれケガをするおそれがあります。
- 窓(網戸)の開閉時に、窓(網戸)と枠、窓(網戸)と窓(網戸)のすき間に手や足を置かないでください。指を挟んだり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- 窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指を挟んだり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- 風の強い時は窓を閉め、必ずロックしてください。ロックしないと、風力で窓が急に開閉し、その衝撃で破損や落下が起こり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

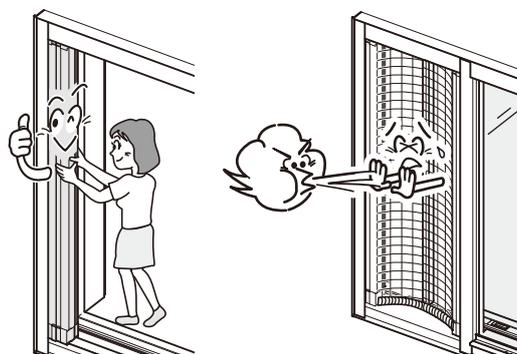
※清掃時にケガ・破損のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 下枠カバーなどを外した後、下枠カバーなどのカドや下枠に直接手を触れないでください。
- FIX下棧アタッチメントを外した状態で、障子を動かさないでください。障子が脱輪するおそれがあります。



※網戸脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 網戸を取付けた後、収納枠を軽く引き、アンカープレートに固定されていることを確認してください。
- 風速10m以上の強風時には、使用しないでください。



お願い

製品破損に関すること

- ボルト・ナット・ねじなどは絶対にゆるめないでください。
- レールには衝撃を与えたり硬い物を当てないでください。変形・破損の原因になります。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 網戸の枠(かまち)に把手や錠をねじ止めしないでください。ねじがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。



お願い

製品破損に関すること

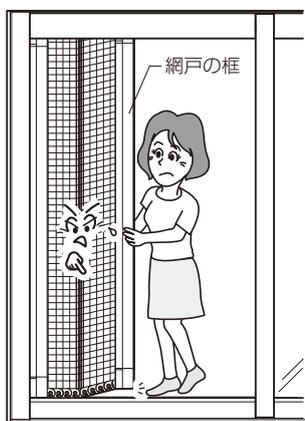
- 変形・破損の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・勢いをつけて網を収納しないでください。
 - ・軸によりかからないでください。

使用上のお願い

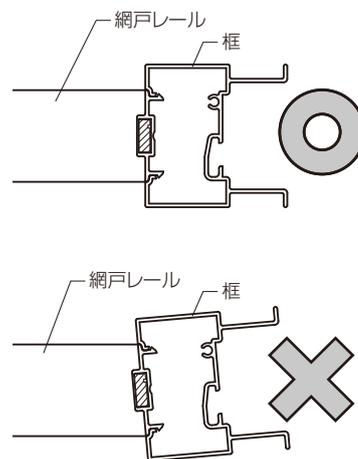
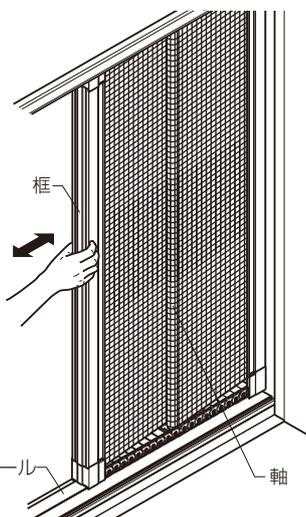
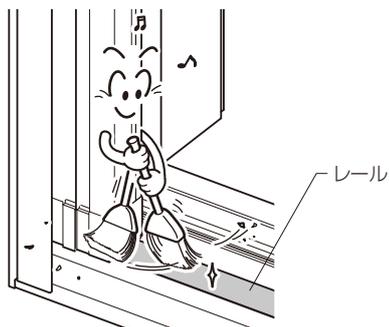
- 網戸は、框(かまち)を包むように両側から持ちながら網戸レールとまっすぐにして開閉してください。框が斜めになると砂などが引っかかり、ガタツキや異音などが発生する場合があります。

- 網戸を収納するときは、最後まで手で押して収納してください。自動で収納される構造ではありません。

- 網戸の框(かまち)を持ち上げながら開閉しないでください。網戸がレールから外れてしまうおそれがあります。



- レールの周りの小石・砂・ホコリなどはこまめに取除いてください。部品の磨耗・損傷を起こすおそれがあります。



- 網戸を使用しないときは、収納するようにしてください。長期間網を出したままにすると、収納性が悪くなるおそれがあります。

- 取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。キャタピラが外れるおそれがあります。

- 水洗い後は、網戸本体を十分に乾燥させてください。濡れたまま使用すると再びホコリなどが付着しやすくなり、開閉が重くなります。

- 油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリなどが付着し、作動不良になるおそれがあります。



操作方法

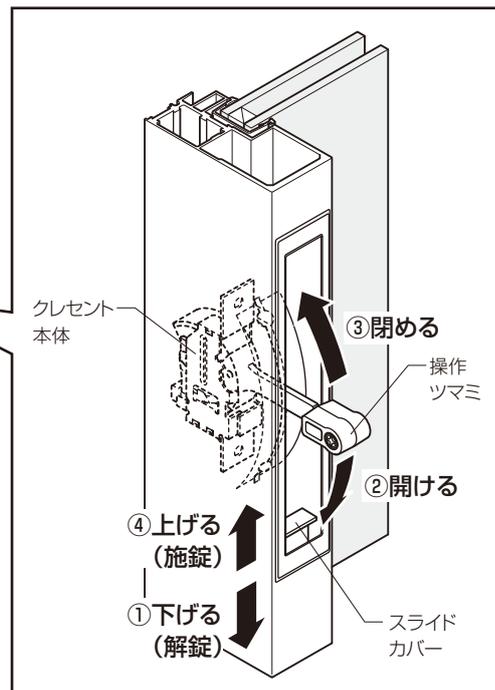
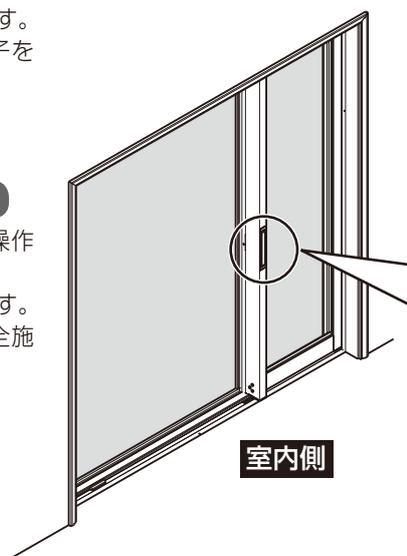
窓の開け方、窓の閉め方

窓の開け方

- ①クレセントのスライドカバーを下にさげます。
- ②クレセントの操作ツマミを下にさげ、障子を開けます。

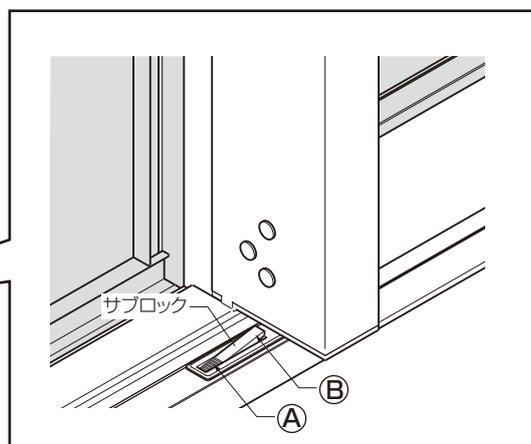
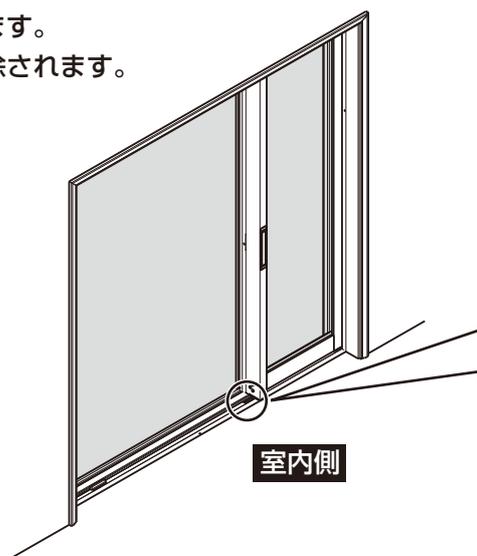
窓の閉め方

- ③障子をしっかりと閉めてからクレセントの操作ツマミを上にあげます。
- ④クレセントのスライドカバーを上にあげます。
※スライドカバーが上にあがった状態で完全施錠となります。



サブロックの操作方法

- Ⓐを押すとロックされます。
- Ⓑを押すとロックが解除されます。



網戸の使い方

網戸を使う

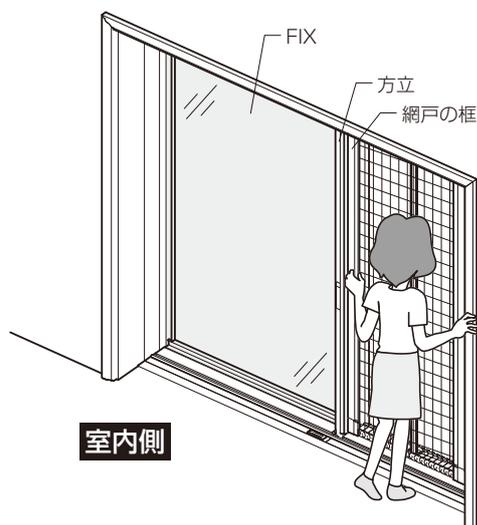
- 框を手で持って方立にあたるまで動かします。
※マグネットで固定されることを確認します。

お願い

- 框（かまち）は網戸レールとまっすぐに動かしてください。
- 框（かまち）を持ち上げながら開閉しないでください。
- 使用しないときは、収納するようにしてください。

網戸を収納する

- ① 框を引いて方立から離します。
 - ② 框を手で押して収納します。
- ※網戸は自動で巻き戻る構造ではありません。
※網戸が自動で巻き戻る距離は一定ではありません。
使用している時間によって変化します。



調整方法

障子の戸車の調整（建付け調整）

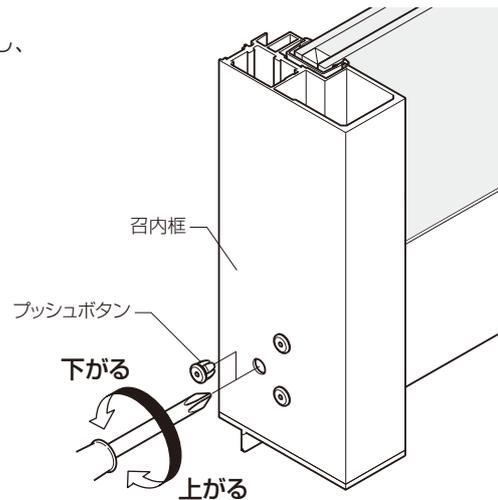
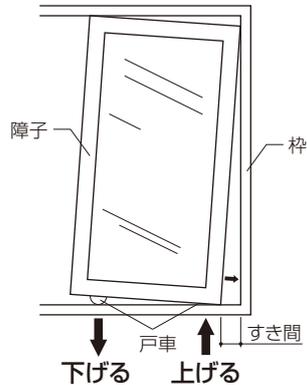
●開口部に変形が生じたときに、戸車の高さ調整をしてください。

※調整するときはクレセントを外してください。

- ①障子の下端にあるプッシュボタンをいったん外し、調整ねじを回し、高さを調整します。
- ②調整後はプッシュボタンを戻してください。

障子を上げたい場合…右に回す（時計回り）

障子を下げたい場合…左に回す（反時計回り）



クレセント錠の調整

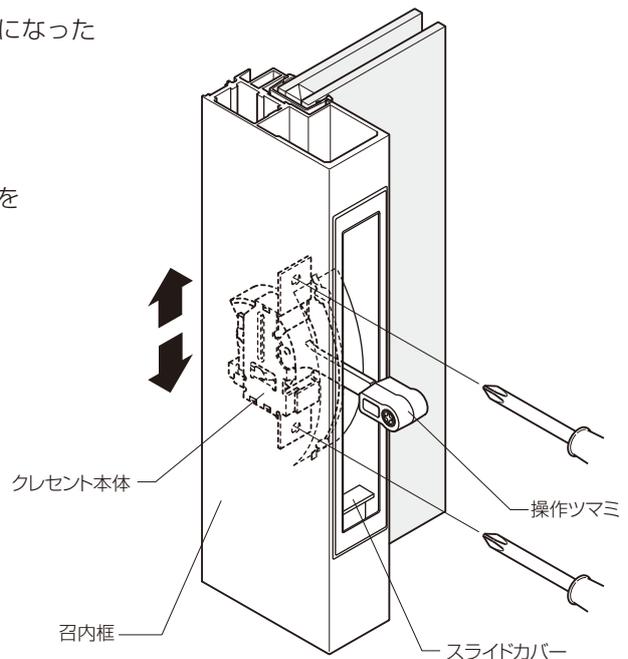
●クレセント錠がかからない、閉めても障子がガタつくようになった場合にクレセント錠本体と受けを調整してください。

上下方向の調整（クレセント本体）

- ①スライドカバーを下ろし、操作ツマミを中央にします。
 - ②プラスドライバーを操作ツマミの上下の穴に挿入し、ねじを1回転ほどゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

クレセント錠がかかり難い場合…上に動かす

閉めても障子がガタつく場合……下に動かす

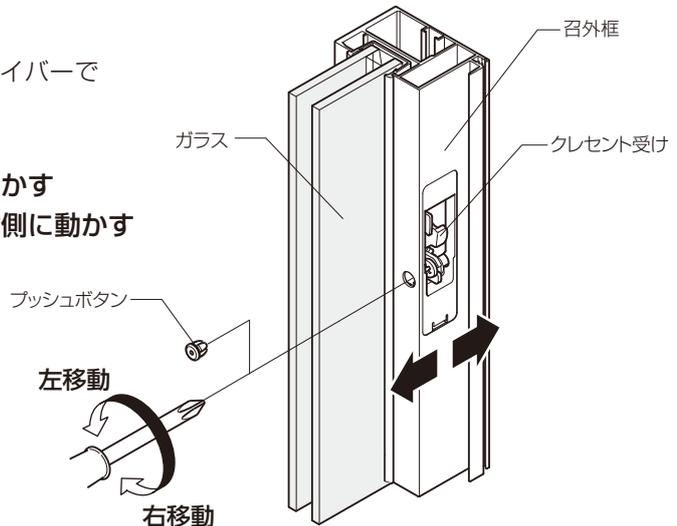


左右方向の調整（クレセント受け）

- ①召外框のプッシュボタンをいったん外してプラスドライバーでクレセント受けを左右に動かして調整します。
- ②調整後、プッシュボタンを押込んでください。

クレセント錠がかかり難い場合…ガラス側に動かす

閉めても障子がガタつく場合……ガラスと反対側に動かす



清掃方法

1

下枠

- 下枠のカバーなどを外すことで、たまったゴミやホコリを取除くことができます。

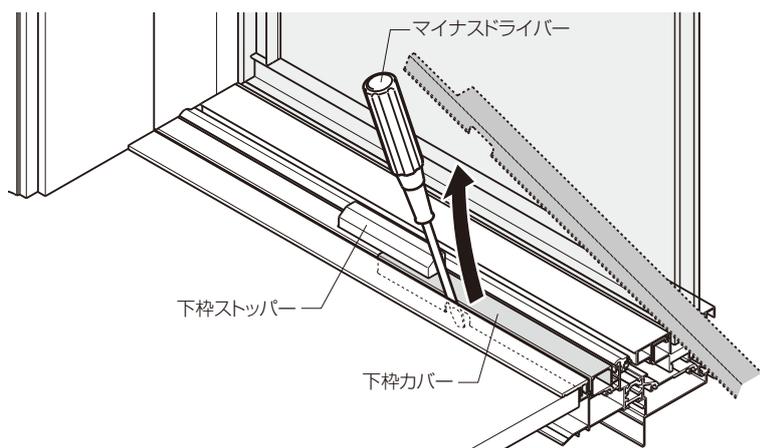
▲ 注意

- 下枠カバーなどのカドや下枠に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

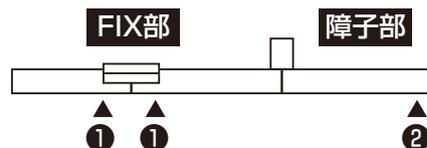
取外しと取付け方法

■下枠カバー（FIX窓にはありません）

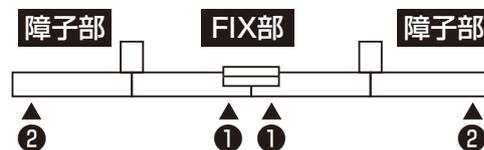
- 下枠カバーの切欠きにマイナスドライバーなどの先端を斜めから差込み、持ち上げると外れます。
- ※取付けは、取外しの逆の方法ではめてください。



【HKタイプ】



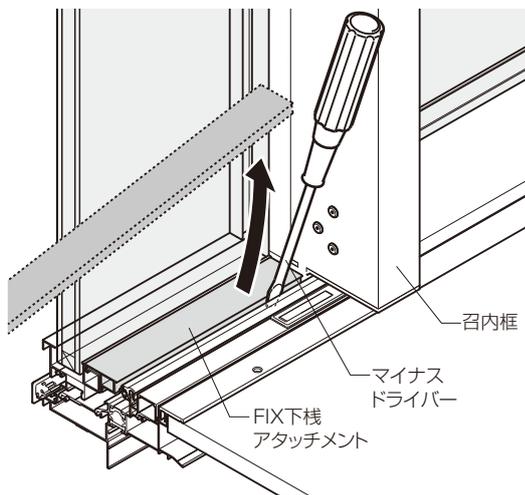
【HKKタイプ】



- ▲：下枠カバーの切欠き位置
- ①：障子を閉めた状態で取外します。
- ②：障子を開けた状態で取外します。

■FIX下枠アタッチメント（FIX窓は外せません）

- FIX下枠アタッチメントの下側にマイナスドライバーなどの先端を斜めから差込み、持ち上げると外れます。



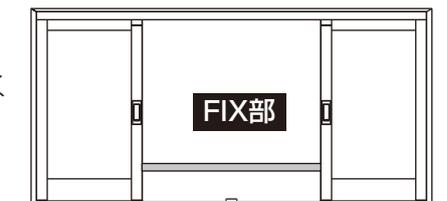
【HKタイプ】

- HKタイプは、召内框側を先に持ち上げてください。



【HKKタイプ】

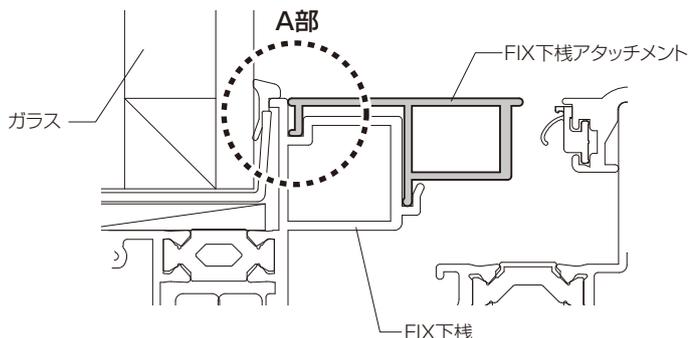
- HKKタイプは、真上に持ち上げてください。



- ※取付けは、垂直に落とすようにのせます。A部がはまっていることを確認してください。

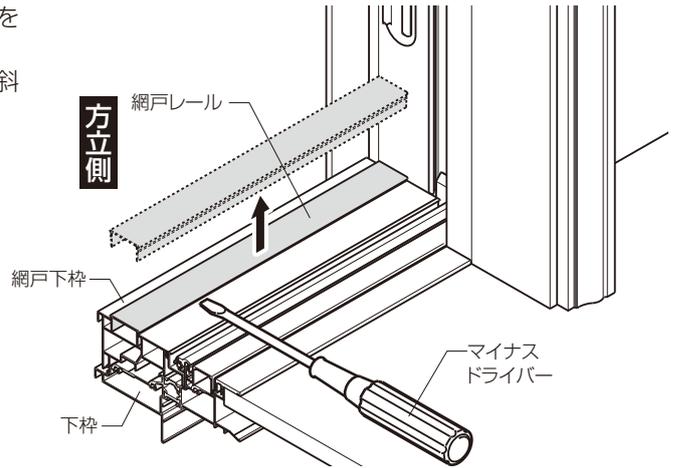
▲ 注意

- FIX下枠アタッチメントを外した状態で、障子を動かさないでください。障子が脱輪し、ケガ・破損のおそれがあります。



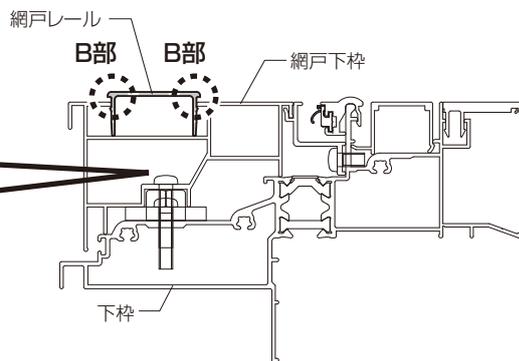
■網戸レール

- ①網戸を取外します。（網戸の取外し方法は網戸の項目を参照してください）
- ②網戸レールの下側にマイナスドライバーなどの先端を斜めから差し込み、持上げると外れます。



※取付け時は、方立側に寄せてはめ込んでください。
B部がはまっていることを確認してください。

●網戸レールを取外した後にでてくるねじは、雨水侵入防止剤付きです。ゆるめると効果がなくなるおそれがありますので、絶対にゆるめないでください。



2

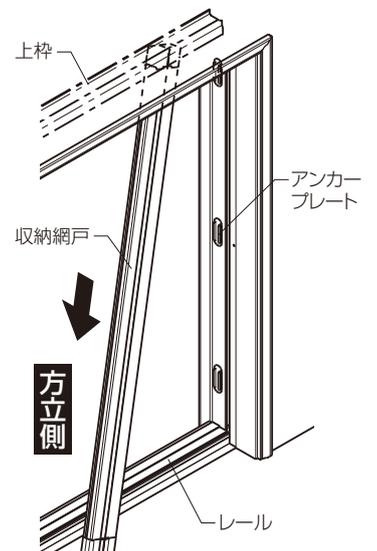
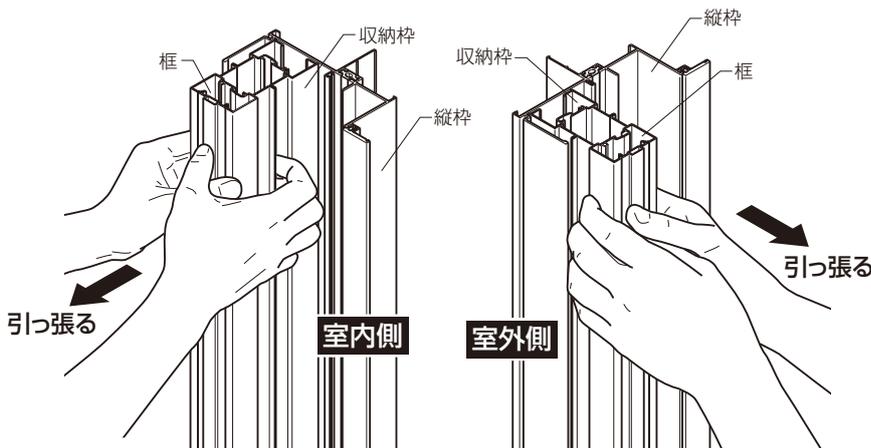
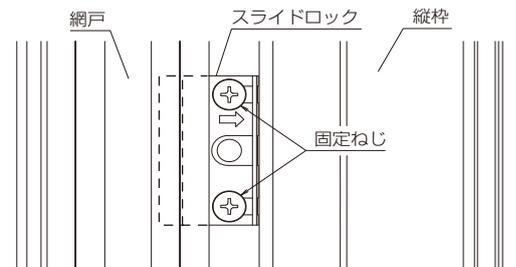
網戸

- レールの上やレールの周りに小石・砂・ホコリなどがたまりまると部品の磨耗や損傷を引起こし、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。こまめに清掃するようお願いいたします。

取外しと取付け方法

■取外し

- ①スライドロックの固定ねじをゆるめます。
※このとき固定ねじは完全に外さないでください。
- ②スライドロックを矢印と逆方向にスライドさせます。
- ③片手を収納枠にかけ、残りの片手を框に添え、方立方向にまっすぐ引っ張るとアンカープレートから製品が外れます。
※このとき、下側のアンカープレート付近から外すと簡単です。
- ④網戸を斜めにして上枠から取出します。（下図参照）



■取付け

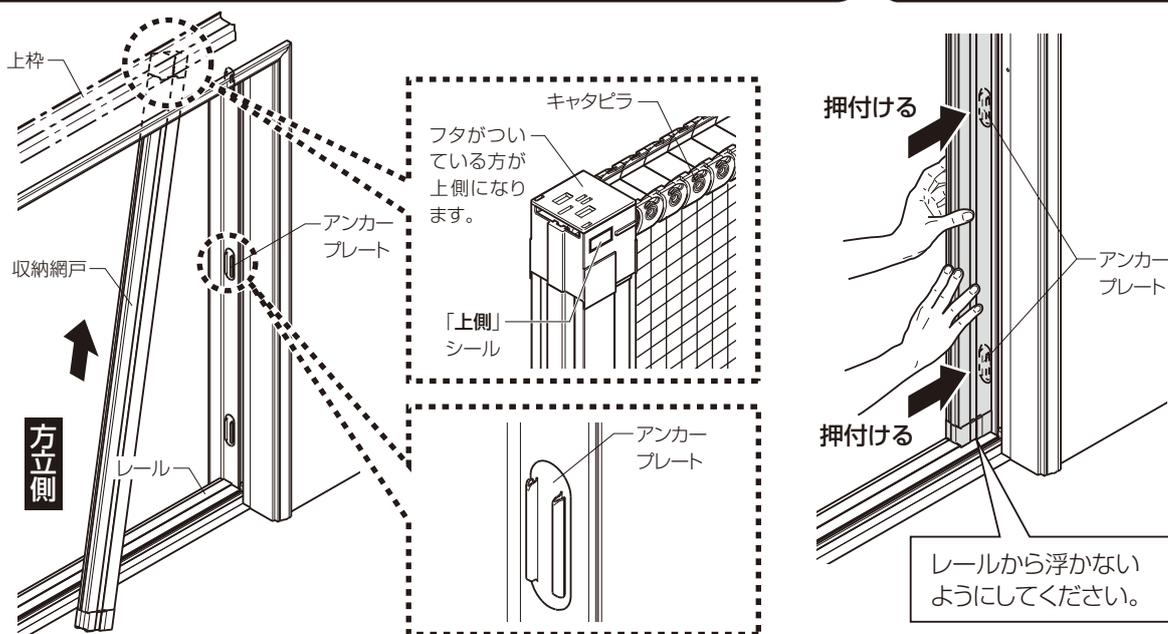
- ①取外しと同じように網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れ、本体をレールに接触させながら収納枠をアンカープレートに「パチッ」と音がするまで押付けると溝とアンカープレートが接合し固定されます。
- ②スライドロックを矢印方向にスライドさせ、固定ねじを締めます。

▲ 注意

- 網戸を取付けた後、収納枠を軽く引き、アンカープレートおよびスライドロックに固定されていることを確認してください。網戸脱落のおそれがあります。

お願い

- 上下を逆に取付けると、作動不良になります。
- 取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。



お手入れ方法

■網戸本体

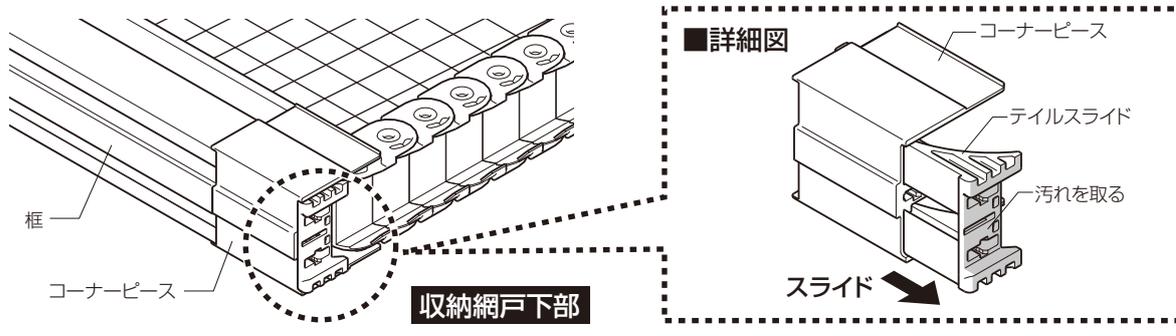
- 網戸本体を取外して丸洗いができます。
- ※取付け時濡れていると開閉が重くなります。
- ※網戸の枠の部分は、アルミ製商品のお手入れ方法と同じ要領で行ってください。

お願い

- 水洗い後は、網戸本体を十分に乾燥させてください。

■異音発生時

- 網戸の開閉の際に框下部より異音（キーキー音）が発生する場合があります。その場合は、コーナーピース下部のテイルスライド（下図）が汚れていると思われるので、網戸からテイルスライドを取外し、ブラシなどで汚れを取除いてください。
- ※取付けは、取外しの反対の手順で、テイルスライドを網戸に押し込んでください。



■網

- ホコリは、はたきや乾いた布で軽くはらってください。
- 通常の汚れはぬらしたスポンジでふいてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用し、その後、洗剤が残らないようにふき取ってください。網が乾いてから収納してください。

※網が破れたり、汚れたりした場合には網のみの交換が可能です。お買い求めの工務店・販売店、又はLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。

お手入れ方法

●いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

1

アルミ製商品のお手入れ方法

お掃除はなるべくマメに

●アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、それでも砂、ホコリ、塩分などが付いたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受けて、腐食が発生する原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1~2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お手入れのご注意

- 洗剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、およびアルコール以外の有機溶剤はアルミサッシやステンレスなどの金属部分を腐食させたり、塗装はがれを引き起こしますので、絶対に使用しないでください。
 - お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
 - 表面の光沢やツヤが落ちてきたときには自動車用ワックス（研磨剤の少ないもの）を使いメンテナンスを行ってください。光沢やツヤが回復します。
- ①ホワイト色にはホワイト専用のワックスをお使いください。
 - ②ブロンズ色にはホワイト以外のワックスをお使いください。
 - ③ツヤ消しのアルミサッシには表面のツヤにムラができますのでワックスは使えません。
- マジックインクなどが付着したときにはアルコールで軽くこすって除去してください。



お手入れ方法

- ①表面についた砂やホコリをていねいに取除きます。溝の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ②水で濡らした柔らかい布又はスポンジで全体の汚れをふき取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、その後水洗いします。
- ③最後に、かたく絞った柔らかい布又はスポンジで全体をふき取ります。

2

樹脂製商品のお手入れ方法

●断熱商品には性能を高めるため、枠および障子が樹脂で作られているものがあります。樹脂の中でも特に酸、アルカリに対して強い材質を選択していますが、長く快適に使用していただくために、樹脂製商品に対して注意すべき点があります。

お掃除はなるべくマメに

●樹脂商品の場合、レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、キズの原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

お手入れのご注意

- 洗剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、およびアルコール以外の有機溶剤は樹脂部材を溶かしたり、表面と塗装のはがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
- お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
- 樹脂製品にストーブ、ドライヤーアイロンなどを近づけたり、接触させないでください。
- マジックインクや塗料が付着すると落ちなくなりますのでご注意ください。



お手入れ方法

- ①表面についた砂やホコリをていねいに取除きます。溝の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ②水で濡らした柔らかい布又はスポンジで全体の汚れをふき取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤で汚れを落とし、その後水洗いします。
- ③最後に、かたく絞った柔らかい布又はスポンジで全体をふき取ります。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXILオフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打切り後10年です。電装系部品については製造打切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。
●LIXIL PARTS SHOP <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客様さま相談センターにご相談ください。

- 対象商品 サッシ・ドア商品
- 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。
※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。
- 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
- 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
 - ② お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
 - ⑥ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑦ 商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
 - ⑧ 天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ⑨ 施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑩ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
 - ⑪ 引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
 - ⑫ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客様さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

